資料２

地域生活支援の充実に関する課題の整理・検討について（親亡き後）

1　前回部会で整理した主な課題

前回部会では、「親亡き後」に関する課題について検討するため、次のとおり分類し、協議を行った。

- 将来に向けた準備・意思決定支援
- 住まい・地域生活への移行
- 相談支援・情報提供
- 権利擁護・医療同意
- 緊急時・災害時の支援体制
- 支援体制・人材確保

2 「親亡き後」の課題を考える上で見えてきたこと

「親亡き後」の課題は、住まいや成年後見制度など個別の課題だけでなく、日頃から地域の中で安心して暮らし続けるための環境づくりとも密接に関係している。

また、本人や家族が困ったときに相談できる場所や、支援者同士が連携できる体制づくりも重要と考えられる。

3　協議すること

(1)地域づくりの視点からできること

住み慣れた地域で暮らし続けるために、必要なことは何か。

- 地域住民の障がい理解
- 見守りや声かけ
- ごみ出しなど日常生活における支え合い
- 地域とのつながりづくり
- 孤立を防ぐ取組

(2)相談・支援ネットワークの視点からできること

本人や家族、支援者が不安や悩みを抱えた際に相談できる体制として、どのような仕組みが必要か。

- 相談窓口の周知
- 支援者同士のネットワークづくり
- 関係機関の連携強化
- 情報共有の仕組み
- 困難ケースを相談できる場

(3)今後、部会として取り組むべきこと

親亡き後の課題解決に向けて、本部会として優先的に取り組むべきことは何か。